

2月17日

テーマ：神に近づこう

聖書箇所：ヘブル人への手紙4章15節～16節

◆今日のみことば

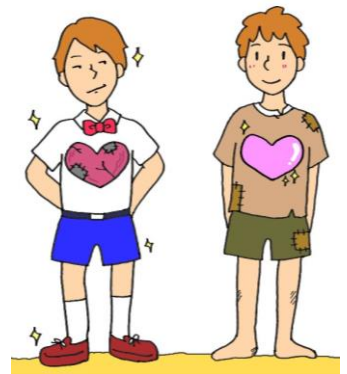
ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

ヘブル人への手紙4章16節

◆メッセージ

昨日どんなことがありましたか。どんなことをしましたか。思い出してみましょう。それは、神さまが喜んでくださることでしたか。神さまが喜んでくださることだったら、私たちもうれい
ですね。私たちは笑顔になります。もしもこれがあべこべで、反対に私
たちのしたことが神さまに喜ばれないことだったら、私たちの心はどうで
しょうか。きっと元気がなくて、まっすぐではなく、ねじれた心になって、
喜んで人と話をするのができなくて、自分の心にうそをついてしま
う、そんな暗い子どもになってしまいますね。

もし私たちが、神さまに喜ばれない心になってしまったら、神さまに
あやまらなくてはなりません。でも、正直に、そしてすぐにごめんなさい
とあやまることは、なかなかむずかしいですね。そんな時、神さまは私
たちに、きょうの聖書箇所を通して教えてください。「私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情
できない方ではありません。罪は犯されませんでした。すべての点で、私たちと同じように、試
みに会われたのです」(4：15)とあります。イエスさまは、神のみ子で全能のお方ですが、私
たちと同じ人となってくださいました。だから、疲れてしまうことも、身体や心の痛みも、知ってい
てください。大祭司は、神さまと人との間を取り持つ存在です。イエスさまは神さまのことも
知っておられ、私たちのことも知っていて、間に入ってくださっています。すぐに神さまに謝るこ
とのできない、がんこな私たちがイエスさまは同情して(知って、おもいやり)、私たちのために



父なる神さまにとりなしの祈りをしてください。イエスさまの
助けをいただけるのですから、イエスさまのもとに近づいていきま
しょう。「ですから、私たちは、あわれみを受け、また恵みをいた
だいて、おりにかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に
近づこうではありませんか。」と、続けて書かれています。

イエスさまによって、私たちは神さまに罪をゆるしていただき、
神さまに喜んでいただく生活ができるようになります。イエスさ
まを信じていきましょう。イエスさまにおまかせしていきましょう。

心から喜んで神さまに近づきましょう。

◆お祈り

「イエスさまによって、私は神さまに近づいていけることを感謝します。」

(支援教師 神尾鋼行)

